

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 平成30年度労働災害防止計画

産業廃棄物処理業における労働災害は、他の業種に比べ発生の頻度が高く、危険度も高いことから、(公社)全国産業資源循環連合会(旧(公社)全国産業廃棄物連合会)では平成29年度から3年間の期間とする「産業廃棄物処理業における労働災害防止計画」を策定し、平成31年における死亡災害数及び死傷災害数を現状の20%以上削減する数値目標を掲げ、各都道府県の産業廃棄物協会等と連携して安全衛生水準の向上に取り組んでいる。

当協会では、計画的に安全衛生事業を実施するため、労働災害の発生状況及び会員の安全衛生活動アンケート調査結果を基に、翌年の活動目標及び取組事項を定めることとしており、このたび平成30年度の労働災害防止計画を作成した。

1. 計画目標(平成31年)

- (1) 死亡者数をゼロにする。
- (2) 休業4日以上の死傷者数を平成25～27年の実績平均に比して、20%以上減少させる。(22.7人 → 18.1人以下)

(参考)岡山県内の産業廃棄物処理業に係る労働災害数(厚生労働省岡山労働局資料)

区 分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
死亡者数	0人	0人	0人	0人
休業4日以上の死傷者数	23人	24人	21人	26人

※平成28年は、大雪や凍結など異常気象に起因する災害が増加したためと推測。

2. 活動目標（平成30年）

活動目標	29年実績	30年目標
(1) 安全衛生活動アンケート調査の回答数を前年の20%以上増加	130社	156社
(2) 協会の安全衛生事業を認知している会員を前年の20%以上増加	130社	156社
(3) 協会の研修会に参加する会員を前年の10%以上増加	38社	42名
(4) 連合会の支援ツールを認知している会員を前年の20%以上増加	112社	135社
(6) 安全衛生パトロールを実施している会員を前年の10%以上増加	76社	84社
(5) ヒヤリ・ハット活動を実施している会員を前年の10%以上増加	73社	81社
(7) リスクアセスメントを実施している会員を前年の10%以上増加	66社	73社
(8) 安全衛生規程を作成している会員を前年の10%以上増加	58社	64社
(9) 安全衛生管理体制を構築している会員を前年の10%以上増加	77社	85社

3. 取組事項（平成30年度）

- (1) パンフレット、会報誌、ホームページ等を通じ、会員企業における安全衛生意識の高揚を図る。
- (2) チェックリストを配布し、会員企業における安全衛生活動を推進する。
- (3) 安全衛生研修会を開催し、会員企業における安全衛生知識等習得の場とする。
- (4) ヒヤリ・ハット調査を実施し、結果を会員にフィードバックして啓発を図る。
- (5) 安全衛生保護具を紹介し、普及啓発を図る。
- (6) パンフレット、ホームページ、研修会等を通じ、全国産業資源循環連合会の安全衛生サイトを紹介し、会員企業におけるヒヤリ・ハット活動、安全衛生パトロール、リスクアセスメント、安全衛生規程、安全衛生管理体制の構築等を支援する。
- (7) 厚生労働省岡山労働局と連携し、県内における労働災害発生状況の動向を把握し未然防止策を研究する。
- (8) 労働安全衛生委員会において、実効性のある安全衛生事業を検討する。